町田市議会議員　3期連続トップ当選

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集

左上はブログ
右上は新規の
ビジュアルサイト

「保守の会」所属議員
ユニークな人材そろい

議員の質問と市長の答弁態度

議員の一般質問と市長の答弁について町田市議会では大きな問題があります。

それは市長に対して質問するのに、石阪市長は登壇後、大半の議員に対して「担当者に答えさせます」と話し、自分では答弁せずに降壇するやり方を取っています。今議会も施政方針の事項に質問した議員に対して、「部長に答弁させる」と話したことに、当該議員よりクレームがでましたが、議会運営委員会では「なんの問題も無し」として、議事が進行されました。

本会議場の演壇は、市議会議員という住民代表がそれぞれの見識で意見を述べたり、市政を質したりするためのものであり、それに市のトップが答弁するために設定したものが本会議場の演壇です。ですから、部長が答弁する際は、町田市議会においては、全て自席でやることになります。現状のように市長が議員の質問に直接答えない場合、議会が市長を演壇に立たせることは、自分で自分を辱めている行為だと考えざるを得ません。以上の趣旨で、私が一般質問した場合、市長が直接答えない時は市長に演壇に立たせたくないと思っています。

（写真は、私が議長職にあった時期に撮影）

研修レポート①長井健太

第 1 回目のインターンとなった 28 日は市議会本会議の最終日でした。10 時から本会議が始まり、各委員会で事前に審議が行われた議案についての委員長からの説明の後、本会議での表決となります。もちろん議会には様々な考えを持つ方がいらっしゃることから、中には議案の一部分のみ反対する、という議員の方もいらっしゃいましたが、基本的に「賛成」と「反対」の 2 択という大原則のもとで議案が採択されていく様子はある意味単純明快であるように写りました。自分としては「保留」という選択肢があっても良いように思いましたが、委員会など事前の審議の場で質疑を行う、あるいは修正案を議案として提出するなど、議案に対して意見表明を行える機会が多く用意されていることを吉田議員から説明していただき、一議案に対して議員一人ひとりが賛成・反対の立場を明確にできるよう様々な仕組みが整えられていることを実感しました。

15 時過ぎに本会議は散会した後も息つく暇はなく、会派を超えた新しい議員連盟の立ち上げなどが続きました。年度末ということで身の回りの変化が多い季節ではありますが、議員さんの活動は時系列の区切りなく続いていくものであることを実感した一日でした。

首都大東京 3 年生　長井 健太（第 43 期生）

★吉田つとむの連絡先　TEL 042-795-7361　FAX 042-795-2726
◇高校生との意見交換会は市内の高校に限らず、市内在住で市外の高校の高校生も対象
Mail:yoshidaben@gmail.com ご質問やご相談をお寄せください。

平成 31 年 4 月後半発行　町田市議会報告　「保守の会」会派所属　月2回刊(vol.405)

町田市議会議員・納税者主権

吉田つとむ

良識ある保守主義を目指す

町田市議会
〒194-8520
東京都町田市
森野２−２−２２
☎042-724-2171
「保守の会」
自宅042-795-7361

容器包装プラの収集と中間処理

町田市は家庭の使用済み容器包装プラスチックを分別収集し、それを資源として扱うとした施策を行っています。現実には、町田市の南地区において 2016 年より中間処理施設（圧縮・梱包する）の設置運行を開始し、すでに 3 年が経過しています。ただし、他の区域では未だその実施が現実的に見えない状況が続いています。＊その南地区とは、旧南村エリアの横浜線南側を対象とするエリアです。

そこで、全域実施の展望を一般質問で尋ねました。町田市の予定では、2020 年度まで施設建設を終え、運用されるとしていましたが、地元での土地の手当てが遅れ、予定の見直しをせざるを得なかったとし、相原地区が 2025 年度、上小山田地区に 2027 年度に完成したいとする答弁でした。南地区の実施時期から 10 年以上、当初予定からも 7 年度も先のことになってしまいました。この時期はリニア中央新幹線が開通し、相模原市の橋本に新駅が新設される見込みになっています。どちらが先に実現するのでしょうか。町田市の行政施策推進のスピードは、はなはだ緩慢と断言するほか無いものです。（写真は、2016 年スタート時の撮影）

リニア新幹線と道路新設と利用

JR 東海の説明会で私が質問した際の写真

今回の一般質問のテーマの一つに、「リニア中央新幹線工事と町田市の恩恵」取り上げました。JR 東海が建設・営業するリニア中央新幹線は 2027 年開通、近隣では相模原市橋本に駅が設置されることになっています。町田市内にはリニア中央新幹線のルートが地中を通り、そのトンネル工事と空気抗設置（市内に 2 か所、上小山田等）の工事が行われますが、その工事資材や機器の移送、あるいは土砂の運搬のための多数の大型工事車両が市内を通る抜けることになります。

答弁では、上小山田の空気坑建設のための工事車両の運行には、尾根緑道が使用されること、既存の通行車両を含めた工事車両とのスムーズな離合のため、JR 東海によって、その道路幅の拡幅の改修が行われます。尾根緑道の道路幅は 4.5m から 7.0m に拡幅されることになっており、リニア中央新幹線の工事終了後には一般の交通に利用されることになっているとのことでした。

同時に町田市斎場（多摩斎場）の入口に至る道路の改修、改善を求めましたが、拡幅した道路の延長は見込まれていませんでした。

★ 政党無所属・市議会は保守の会　mail ： yoshidaben@gmail.com
URL　http://j-expert.jp/　動画　http://jp.youtube.com/yoshidaben　メール送信
編集者　〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイトＥ103-13 吉田つとむ（自宅）

町田市議会議員　**3期連続トップ当選**

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集

左上はブログ
右上は新規の
ビジュアルサイト

インターン生募集中

研修レポート⑤田代 杏夏

今回は、吉田つとむ議員の一般質問に関する町田市職員のヒアリングに立ちあいました。一般質問とは、議員が質問や提案を通じて、本会議で市長の方針を問いただし、あるべき政策などを求めるものです。一般質問の項目については、あらかじめ各議員より、文書で市役所側に通告されています。それを元に市役所職員は議員ヒアリングによってより正確に事態を把握し、答弁内容を事前に準備をすることでより深く充実した議論を本会議で行うことを目的にしています。

このヒアリング作業は、全議員に対して一斉に行われ、それぞれの会派室や委員会室のスペースは、議員と職員で満杯になっています。吉田議員に対して、取材のヒアリングを行ったのは、環境資源部、政策経営部、都市づくり部などの担当者でした。当日は、それぞれの担当の方々が入れ替わりで吉田議員のもとを訪ねヒアリングを行っていきました。様々な問題について一つ一つ丁寧に議論の準備が行われていると感じました。

研修レポート⑥-1 田代 杏夏

町田市保健所を訪れ、生活衛生課課長の田中道紀さんと生活衛生課環境衛生係統括課長の松本主重裕さんにお話を伺いました。主に生活衛生課環境衛生係の業務を中心にお話をしてくださいました。環境衛生課の業務には大きく分けて３つの分野があります。

１つ目は理・美容所、クリーニング店、公衆浴場などの衛生管理についての監視・指導です。意外だと思ったのは墓地の新設や拡張、火葬の手続きなども環境衛生係が行っていることです。2 つ目は事務所、店舗など多くの人が利用する建築物の室内環境また飲料水の安全確保のための水道施設の監視・指導を行っているものです。3 つ目は、市民から寄せられる生活環境、ねずみ・衛生害虫に関する相談に助言を行ったり、現場調査を実施するものです。また飛散花粉数調査も実施しており、害虫の調査では捕獲して持ち帰り顕微鏡などを使って調べるそうです。

私が一番驚いたのは環境衛生係がこれらの業務をすべて担っていることです。保健所は私たちの生活と密接に関わっている、なくてはならないものだと感じました。

★　吉田つとむのインターンシップは 1998 年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや、中学生の職場体験に先行実施

★　大学生･院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。

インターン希望の方、関心がある方は、ホームページの掲載要旨をご覧の上、ご連絡ください。

町田市議会議員・情報公開

吉田つとむ

交通文化都市・若者育成の街

町田市議会
〒194-8520
東京都町田市
森野2-2-22
☎042-724-2171
保守の会
自宅 0427957361

市議会の傍聴・見学

研修レポート④-2 秋山真聖

町田市立自由民権資料館を訪れました。1986 年に開館した武相地域の自由民権運動の資料を展示している資料館です。

明治初期に天賦人権論に基づき、藩閥政治に反対し、国民の政治参加や国会開設、憲法制定、地租の軽減などを要求する運動が全国に広まります。政府からは富国強兵を大義名分として増税や徴兵を求められていましたが政治に参加する権利は無く、村の要職にあった豪農たちの間で政治的な権利を要求したいという運動が高まったのです。当時の町田地域は、神奈川県に属していました。武蔵と相模、分かれて活動していた運動を町田地域の民権家が一つにまとめようとしました。責善会、融貫社などの結社が設立され、衆議院議員も輩出するなどして全国的な運動へと発展していきました。現在私たちが当たり前のように持っている権利も先人たちの努力によって皆にもたらされたものである事を改めて認識しました。その過程では、大河ドラマになった困民党事件のような犠牲を伴ったものもあり、権利の獲得のために働いた方たちに畏敬の念を禁じ得ません。

玉川大学３年生　秋山真聖（第 43 期生）

研修レポート④秋山真聖

玉川大学３年生　秋山真聖（第 43 期生）

「子どもセンターまあち」にお邪魔しました。2016 年 4 月に町田市で 5 番目にオープンした施設です。壁一面の大きな鏡を備えたダンスシアタールーム、ドラムセットがある音楽スタジオ、乳幼児ルーム等、どこを見ても楽しそうな場所です。音楽スタジオは中学生からの利用であり、講習を受けないと使えないので、いい加減な使い方は許されないようになっています。「まあち」には、おしゃれなカフェも併設しています。カフェのテーブルで食べるのはもちろん、テイクアウトできるので、「まあち」のテラスや 2 階フリースペースで食べる事も可能です。なんと離乳食も売っています。メニューを見ましたが、社食みたいな物ではなく普通のおしゃれなカフェメニューです。今までお弁当持ちで、子どもセンターに来ていた親子連れの方たちも、ふらっと訪れる事ができるでしょう。夜までの営業ではないのが残念ですが、中高生の腹ぺこにも、もってこいです。2018 年のデータですが町田市は、子どもの転入超過数がなんと全国３位だそうです。ファミリー世帯の転入が増加しているので、更なる子育て支援に子どもセンターの役割が期待されます。

★マルチメディア双方向発信　吉田つとむ発見動画チャンネル

URL　http://j-expert.jp/　ユーチューブ　http://jp.youtube.com/yoshidaben

編集者　〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイトＥ103-13 吉田つとむ（自宅）